

月刊

立川と語ろう 立川に生きよう

# えくてびあん

(EKUTEBIAN VOL. 13 DECEMBER 1984 EKUTEBIAN)

12



まい あーと ■ ボタニカル・アート  
「ドイツウヒ・白実のヤドリギ」 by 角田葉子



竹内洋介さんが曙町  
1丁目に「無庵」の暖  
簾をかけた、この11月  
で丸5年。そして今、  
竹内さんの蕎麦に対す  
る情熱の高まりは、立  
川に留まらず大きく広

がろうとしている。今年の春に山梨に土地を求め、  
蕎麦の栽培を手掛けてこの秋に収穫。最初の段階か  
ら納得のいく「100%自家製」の蕎麦作りをめざす。  
また来夏には、山梨は小淵沢に店を開店させる予定  
もあり、今後夏の間は立川の無庵を閉めるというほ  
ど。今回、その情熱の一端を「そば寿し」という形  
で表していただいた。もともと粘り気のない蕎麦を  
幾重にも押し重ねて季節を語らせていく。ほのかな  
酢の香りと蕎麦の歯ごたえを五感のすべてで味わえ  
ば、竹内さんの食の美学そのものをごちそうになっ  
た気分。この先新しい展開をみせる竹内ワールド、  
楽しみである。

撮影：井上義治



仕  
上  
が  
り  
に  
自  
信  
あ  
り。

撮影・DPE  
写真のエース

立川市栄崎町2-9-1  
0423-23-0851



# 竹内洋介の そば寿し



# 夜の北口、ギターの響き、 流し歩いて30年

## 立川唯一の流し歌手、合志一孝さん

「オレは唄うことしか取柄がないからサ」

合志一孝さん(富士見町)はそう言って笑った。

立川でただひとり、もう30年以上も、毎夜北口界隈の酒場に「生きた」うたを運び続ける。

カラオケ全盛の世の中、「やり難くなったね」と言いながらも

胸のポケットベルは鳴りっぱなし。

合志さんのうたごゑを求めて、あちこちの店からお呼びがかかる。

「悪いね、次のお客さんのとこ行かなきゃ」

最後に1曲お願いしますと、合志さんはギターのネックにカポタストをはめ、聞き覚えのある旋律を爪弾きはじめた。

♪曇りガラスを手で拭いて、あなた明日が見えますか…

マイクなんていない。熱爛の湯気がのぼる店内を、そのうたごゑでいっぱいにして、合志さんは「ここに来ればいつでも会えるからサ」という言葉を残して、次の場所へ向かった。

協力:桃太郎(曙町) 撮影:中村 伸



# いろいろな国の人たちの日本語スピーチ・コンテスト

「ミナサン、コンニチハ！ ワタシハ、コウオモイマス！」

10月30日、日曜日。この日、立川市「女性総合センター」「アイム」の館内は、まるで世界の地図が一緒に塗りかえられてしまったかのよう。日本に住むいろいろな国の人たちが集まり、「国際交流フェスティバル」が開催されたのです。TIFA(立川国際友好協会)による「TIFAに集う在住外国人の皆さん、楽しく元気に」って企画されたこのイベント。プログラムの最後を飾る「日本語スピーチ・コンテスト」で繰り広げられた熱弁の数々に、会場は拍手喝采の渦。お気づきですか。この日から立川市の辞書には「国境」という言葉が載っていないということ(？)。



「電車に乗れば日本が見えてくる」優勝に輝いた曹明さん(中国)。



「愛が大好き」と語るペルーの池田サセルさん。



「日本の国旗に似てるでしょ」バングラデシュのジュエルさん。



日本で出版関係の会社にお勤め。ジョン・パスナズさん(U.S.A.)。



最年少。それでも立派なスピーチ。ナーディ・ジャヤン(イラン)。



動物愛護の精神を語るカナダのニコル・レイノルズさん。



スピーチコンテストの様子。

会場ではこの日、午前中からたくさんのプログラムが組まれており、「日本語スピーチ・コンテスト」はイベントの最後を飾る締めくくり。それまで、各コーナーで思い思いに楽しんでた参加者たちは、3時半が近づくと一斉に1階ホールに集まる。

客席を見ればまさに国際会議の様相。しかし堅苦しい雰囲気は微塵も感じられないのは、家族連れや若い人が多いためだろうか。ここやかに談笑する声があちこちで聞こえてくる中、いよいよコンテストが始まった。

スピーチを行うのは全員が日本に暮らしている外国人。年齢も職業も出身国もバラバラ。ただひとつの共通点は、全員TIFA(立川国際友好協会・原田久美子会長)が週に2回行っている日本語教室に通うメンバーであるということ。日頃の努力の成果を、この日のスピーチで上手に披露できるかどうか。客席の雰囲気とは対照的に、壇上に並んだ発表者の表情は真剣そのもの。



入賞おめでとう！

今年も真如苑で除夜の鐘を叩いてみませんか。大晦日の夜は午後10時から午前1時まで、どなたでも境内を参拝できます。鐘のつき手をご希望の方は、当日10時半までにお申し込み下さい。(人数に限りがあります。ご予約下さい。)

師走。慌ただしい日々が続きます。真如苑でひとやすみ、いかがですか。

### 真如苑だより

■日時 12月15日(木) 2時~4時

■御本尊、真如宝徳像をはじめとして映画など盛りだくさんの用意がしてございます。

■お申し込みは「えくてびあん・コンパニオン」(本誌を手渡してくだした人)へ。

<b>中島豆腐店</b> 羽衣町2-12-34 ☎22-5723	<b>むぎばたけ</b> 錦町2-1-1 ☎26-0210	<b>ほわいとほうす</b> 柴崎町2-9-28 ☎24-1610
<b>和風レストラン 萬屋</b> 羽衣町2-27-14 ☎26-3698	<b>池田屋商店</b> 錦町2-1-10 ☎22-3731	<b>ビジネスホテル クボタ</b> 柴崎町2-12-23 ☎22-1122
<b>珈琲屋らうむ</b> 羽衣町2-27-9 ☎26-3643	<b>寿屋酒店</b> 錦町2-1-13 ☎22-3625	<b>いなげや 立川南口店</b> 柴崎町2-12-24 ☎26-2947
<b>立川商店</b> 羽衣町2-30 ☎22-3565	<b>三田花店</b> 錦町2-5-23 ☎24-4187	<b>白洋舎 立川駅前チェーン店</b> 柴崎町2-17-5 ☎25-0036
<b>泰明堂</b> 羽衣町2-31-1 ☎22-3353	<b>立川市市民会館</b> 錦町3-3-20 ☎26-1311	<b>モリタニ漢方薬局</b> 柴崎町2-2-10 ☎25-1193
<b>文具の ないとう</b> 羽衣町2-33-1 ☎22-3677	<b>ロッテリア 立川駅前18番店</b> 幸町4-38 ☎37-4413	<b>南関田酒店</b> 柴崎町2-2-17 ☎24-2960
<b>洋菓子サロン ケーキスタジオ</b> 羽衣町2-6-1 ☎27-6808	<b>たちばな</b> 幸町4-1-12 ☎37-0347	<b>ユウ都市企画</b> 柴崎町2-3-13 ☎28-2566
<b>おそい時計店</b> 羽衣町2-32-2 ☎22-5211	<b>自然食 ばれあな</b> 高松町2-1-23 ☎24-4560	<b>ラ・パンパ</b> 柴崎町2-3-3 ☎24-5800
<b>多摩中央信用金庫 柴崎支店</b> 柴崎町2-66-1 ☎36-9711	<b>多摩画材</b> 高松町2-1-25 ☎22-6031	<b>LIQUOR SHOP はなむら</b> 柴崎町2-3-9 ☎22-2491
<b>手打ちそば 倍更</b> 柴崎町5-12-1 ☎37-0991	<b>洋菓子 マリアン</b> 高松町2-10-22 ☎24-3912	<b>オーロール焼きたて 立川店</b> 柴崎町2-4-15 ☎27-9473
<b>相模屋酒店</b> 柴崎町5-61-8 ☎36-2476	<b>山梨中央銀行 立川支店</b> 高松町2-16-13 ☎26-1571	<b>北京大飯店</b> 柴崎町2-4-19 ☎22-6393
<b>森田接骨院</b> 柴崎町6-6-25 ☎35-6240	<b>宝泉菓子店</b> 高松町2-27-3 ☎26-1736	<b>ななや</b> 柴崎町2-4-22 ☎25-6980
<b>高木健康回復センター</b> 錦町1-6-21 ☎21-0289	<b>丸助青果店</b> 高松町2-4-18 ☎22-3542	<b>田中星美堂薬局</b> 柴崎町2-5-3 ☎22-3913
<b>和菓子処 ゆうき</b> 錦町1-8-5 ☎25-0780	<b>肉の専門店 伊勢屋</b> 高松町2-6-20 ☎24-2734	<b>菊川園</b> 柴崎町2-5-6 ☎26-2035

## えくてびあんの輪

人があて、街があります。あなたがあて、立川があります。そこにちょっとだけ、えくてびあん/リストのお店にはいつでも えくてびあん/

<b>café コロラド</b> 柴崎町2-5-8 ☎26-2285	<b>ラーメン 竜馬</b> 柴崎町3-8-2 ☎27-7575	<b>ホワイトハウス フロム中武</b> 曙町2-11-2 ☎25-8558
<b>スタジオ 269</b> 柴崎町2-8 ☎27-0269	<b>東京都民銀行 立川支店</b> 柴崎町3-8-21 ☎22-7107	<b>ケンタッキーフライドチキン 立川店</b> 曙町2-12-16 ☎28-2636
<b>東陶房</b> 柴崎町2-9 ☎25-0079	<b>美容室 リラ</b> 若葉町11-11-1 ☎36-3048	<b>伊勢丹 立川店 受付</b> 曙町2-12-2 ☎25-1111
<b>ロッテリア 立川南口店</b> 柴崎町3-1-3 ☎22-3928	<b>みふじサイクル</b> 若葉町11-12-4 ☎36-7166	<b>三菱銀行 立川支店</b> 曙町2-13-3 ☎24-4121
<b>笠井紙店</b> 柴崎町3-13-24 ☎22-8601	<b>紀ノ国屋 立川店</b> 若葉町11-13-2 ☎36-1604	<b>トボス 立川店</b> 曙町2-18-18 ☎25-0331
<b>矢沢歯科</b> 柴崎町3-16-2 ☎25-6600	<b>エッソ石油 立川駅前</b> 若葉町2-1 ☎35-3081	<b>オリオン書房 第一パート店</b> 曙町2-2-25 ☎23-3311
<b>割烹 紀ノ川</b> 柴崎町3-4-3 ☎25-5825	<b>大晋商事</b> 曙町1-23-9 ☎25-3110	<b>印章の宝 山堂</b> 曙町2-4 ☎25-0111
<b>ラ・フィネ</b> 柴崎町3-5-2 ☎25-2179	<b>オリオン書房 ルミネ立川店</b> 曙町2-1-1 ☎27-2311	<b>アルピオン</b> 曙町2-4-28 ☎25-3824
<b>ヨシダ貴金属店</b> 柴崎町3-5-4 ☎22-2448	<b>ビューティーナカ</b> 曙町2-1-1 ☎27-6917	<b>お菓子の家 エミリーフロア</b> 曙町2-4-28 ☎27-4138
<b>東京相和銀行 立川支店</b> 柴崎町3-6-17 ☎22-2171	<b>八王子赤十字血液センター 立川出張所</b> 曙町2-1-1 ☎27-1140	<b>アンキョウ・エミリーフロア</b> 曙町2-4-30 ☎26-1818
<b>オリオン書房</b> 柴崎町3-6-27 ☎25-3111	<b>朝日カルチャーセンター 立川</b> 曙町2-1-1 ☎27-6511	<b>クリムト</b> 曙町2-4-30 ☎26-3030
<b>あさひ銀行 立川支店</b> 柴崎町3-6-29 ☎22-4161	<b>ロッテリア 立川ルミネ店</b> 曙町2-1-1 ☎24-7433	<b>第一勧業銀行 立川支店</b> 曙町2-4-30 ☎22-5151
<b>イスパニスタ</b> 柴崎町3-6-3 ☎22-2969	<b>オルゴール 興隆 グリーンハウス</b> 曙町2-3-7 ☎25-2588	<b>シェ・タスケ</b> 曙町2-5-14 ☎27-5959
<b>入船寿司</b> 柴崎町3-6-32 ☎22-2474	<b>立川リジェントホテル</b> 曙町2-11-7 ☎22-1133	<b>さくら銀行 立川支店</b> 曙町2-6-11 ☎22-2151
<b>サンカメラ</b> 柴崎町3-7-22 ☎22-3336	<b>松下球算塾</b> 曙町3-33 ☎25-1671	<b>サヴィニ</b> 曙町2-7-10 ☎25-1662

## 立川トピックス

### 第21回立川航空祭

11月13日、陸上自衛隊立川駐屯地において、第21回立川航空祭が催された。当日は広大な敷地の中にいくつものコーナーが設けられ、ラジオコン飛行や怪獣体験飛行の抽選会場には長蛇の列が伸び、多くの家族連れが楽しい休日を通じた。

入口に全長8mのセスナ機が設置され、写真を撮る親子が後を絶たないD格納庫では立川飛行場歴史展が催された。ここでは大正10年の立川飛行場の整地作業、昭和初期の飛行機工場の様子などが取られた貴重な写真パネルが順に展示され、飛行場の発展、歴史を紹介。わが国最初の国際空港であり、街の発展に大きな足跡を残した立川飛行場の史実を前に、入場者は真剣な面持ちで資料に見入っていた。

本展示を企画したのは「立川に航空宇宙博物館を作る会」。立川史になくてはならない飛行場の歴史を見つめなおし、正當に評価していく姿勢は、再開発が進み、新しいまちづくりを目指し、現在だからこそ、有意義なことのように思える。

## 表紙は語る

ポタニカ ル・アートは植物学的な絵という意味、図鑑などに用いられるため、科学的にしっかりと観察、いられるため、衝動的に耐えうるタオリティが求められる。角田葉子さんは自分の作品に取り組まれる傍ら、ルミネの朝日カルチャーセンターで講師を務めていた。数年前に歌ビレで偶発的に開いた時、おたくも隣のギャラリイで写真展をやったわね。そう言ったら角田さんは今回、教材として展示されていた作品を、わざわざ表紙用に加厚修正してくださった。写真の加工に精進なトウと、クリスマスの装い。教科書の挿絵的な堅苦しさは微塵も感じられないのは、角田さんの優しいお人柄のせい。

たまたばこ「玉手箱」①浦島伝説、浦島太郎の乙姫から見たという箱。②転じて、秘密にしやすい。角田葉子さんは「(伝説よりも)図々しくもその大切なものを見せていた。だから、というのが新企画「わたしの玉手箱」のテーマです。◆今回ご登場いただいた野口さんは、えくてびあんにあつていっばい恩人のよう方。十年前、正体不明のタウ本誌の取材を快く受けてくださった。本誌創刊号の表紙を飾ってくださったのは、まさにも野口さんご自身の挿絵でした。◆久方振りにお宅にお邪魔して、色鮮やかな、たくさんのお話を伺いました。休日には家族揃って探集にでかけていたの、捕獲する時にはそれぞれ役割の分担をされていたこと、品種の名や特性などは息子さんたちの方が詳しくなっていましたこと等々。株々の話を聴いて見えてくるのは、大切な思い出と笑顔あふれるご家族の姿。玉手箱の奥深さを教えられたような気がします。◆は、えくてびあんの玉手箱には何が入っているのか、それはきつと、この十年に出会ったたくさんの人々、ひとつひとつの「出会い」こそが、私たちの玉手箱に他なりません。◆あつという間に十年目の年が暮れようとしています。そして九十四年の「出会い」の集大成、恒例「ベスト立川人」展はもうすぐです。

### ここち良い部屋に

ビジネスホテル クボタ

柴崎町2-12-23 TEL 22-1122

毎月「えくてびあん」発行 平成六年十二月一日発行 発行所 えくてびあん編集委員会 東京都立川市曙町17-5 杉田ビル6F(〒) 電話 ☎四二五(20)0080 FAX ☎四二五(20)0080 編集発行人 立井啓介 印刷所 協大出版社

## ウォッチング

傾いた窓

通行人の目をひく高松町のとある家。飾り窓としては、丸や三角の窓を見たことはあるが、こちらでは傾いた窓が傾いてデザインされているのである。世間では、窓という物は四角で、窓枠は地面と平行なのが慣れた光景ではあるが、そう決め込んでいる自分をはっとさせるほど、この家は自らの存在を主張している。この家の窓から覗く世の中とは、どのように見えるのだろうか。えくてびあんは興味津々である。

W A T C H I N G

あからはじまる

あさひ銀行

## 私たちが楽しめる忘年会にしたい

パーティーシーズン到来！忘年会・新年会・クリスマスパーティーは西洋商房グランディールで

新年、女子社員を祝う特別なクリスマスパーティ。大団圓のお祝い。カラオケ、エントウ、お洒落なメニューが自慢。大団圓のお祝い。カラオケ、エントウ、お洒落なメニューが自慢。大団圓のお祝い。カラオケ、エントウ、お洒落なメニューが自慢。

立川市曙町2-10-4 0426262022

# わたしの 玉手箱

## 1. 栄町・野口慶次さんの「蝶」

「外国の蝶みたいな原色の美しさはないけど、  
なんとなく日本の蝶に惹かれるんだよねえ」  
日本の空に、日本の花に舞う、日本の蝶。  
野口さん、同感です。

